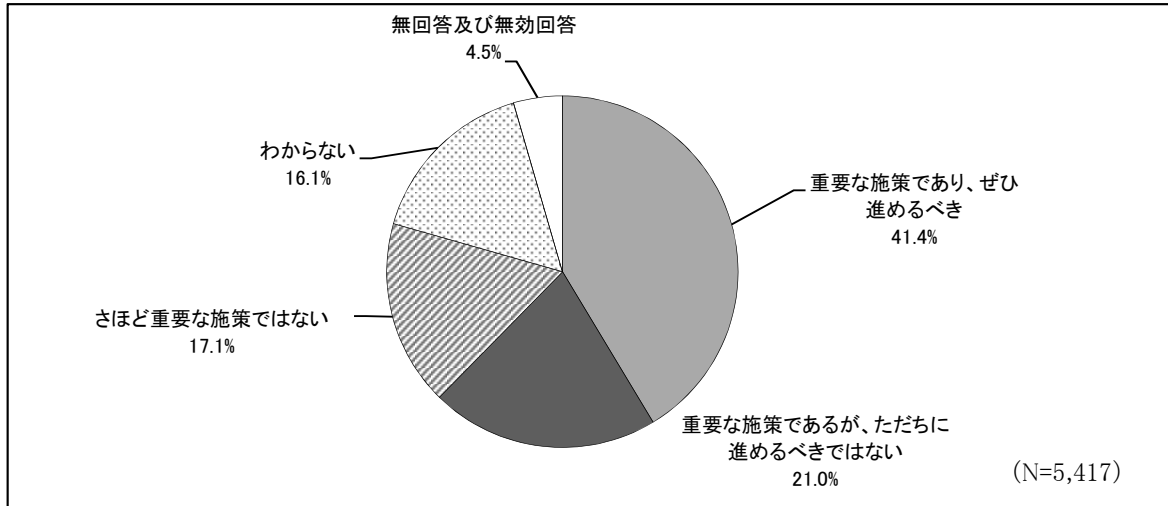


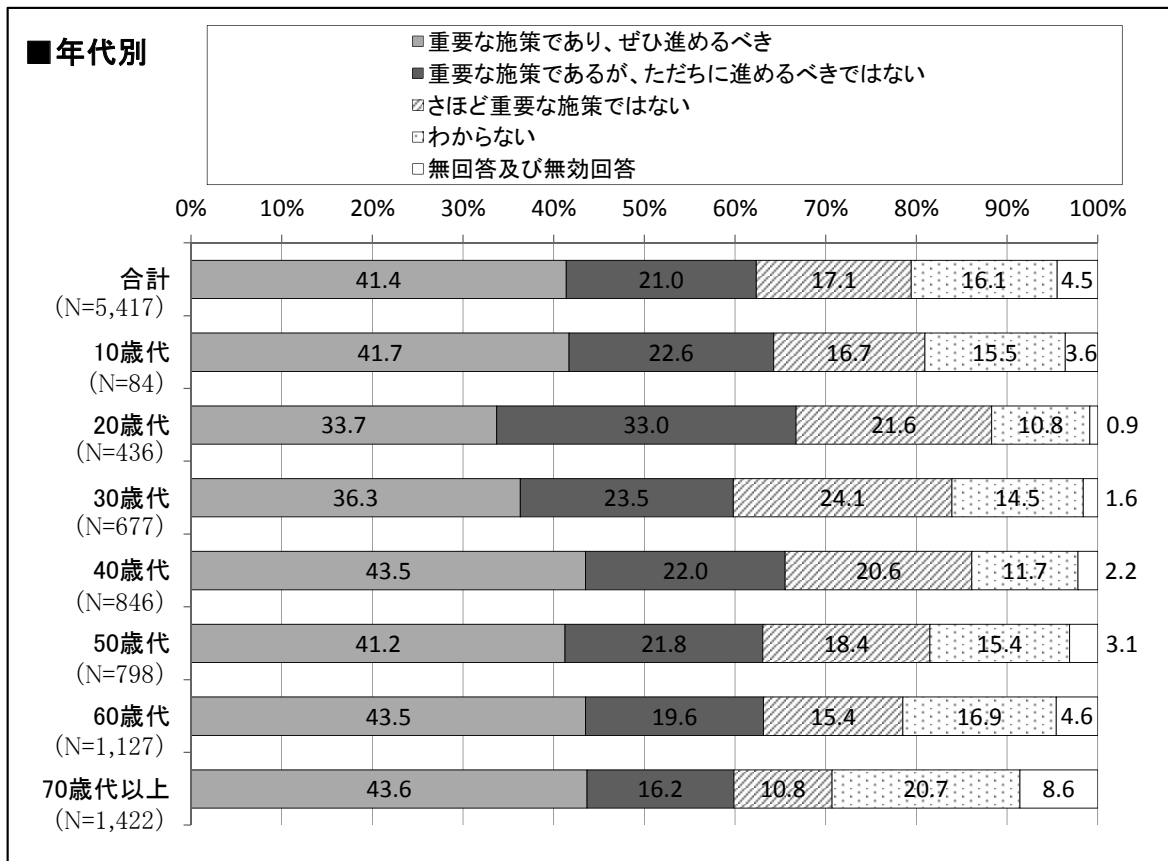
第6章 歩いて楽しい、歩行者にやさしい都心づくりについて

岡山市では、笑顔あふれる中心市街地の創出を目指し、「自動車優先から人優先のまちづくり」や「歩いて楽しい都心づくり」を進めるため、様々な取組を進めています。

【問16】中心市街地を「自動車優先から人優先の歩いて楽しい都心づくり」にしていくことについてどのように思いますか。

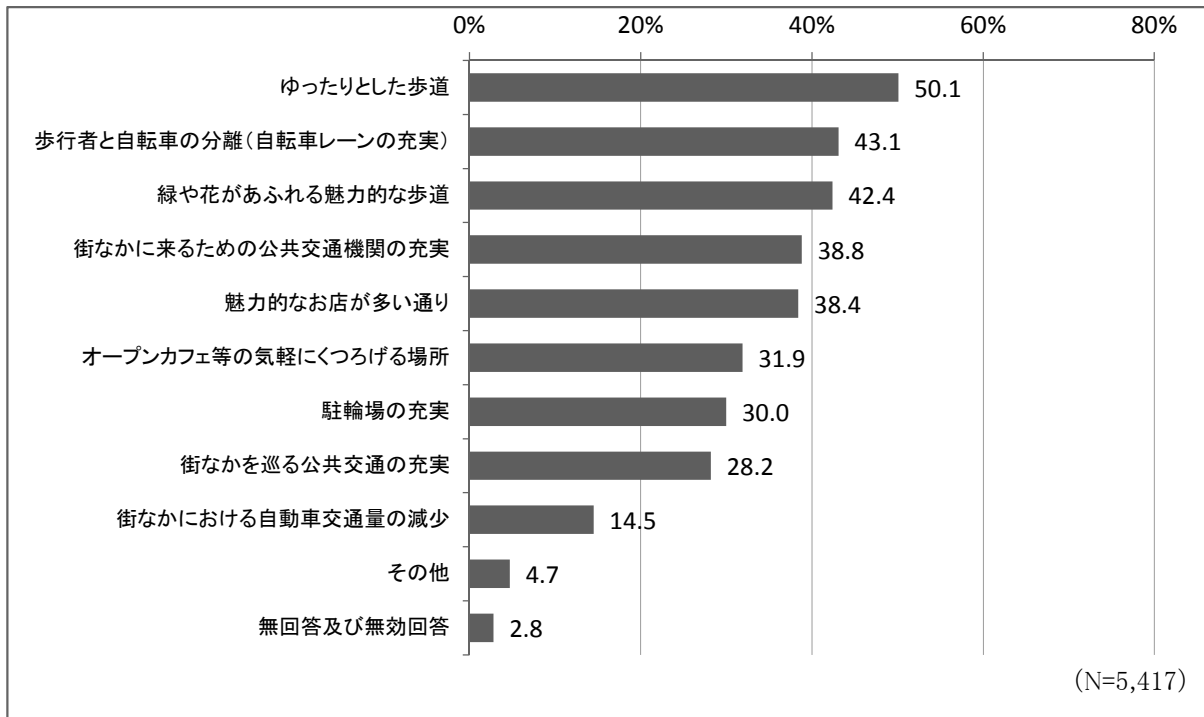


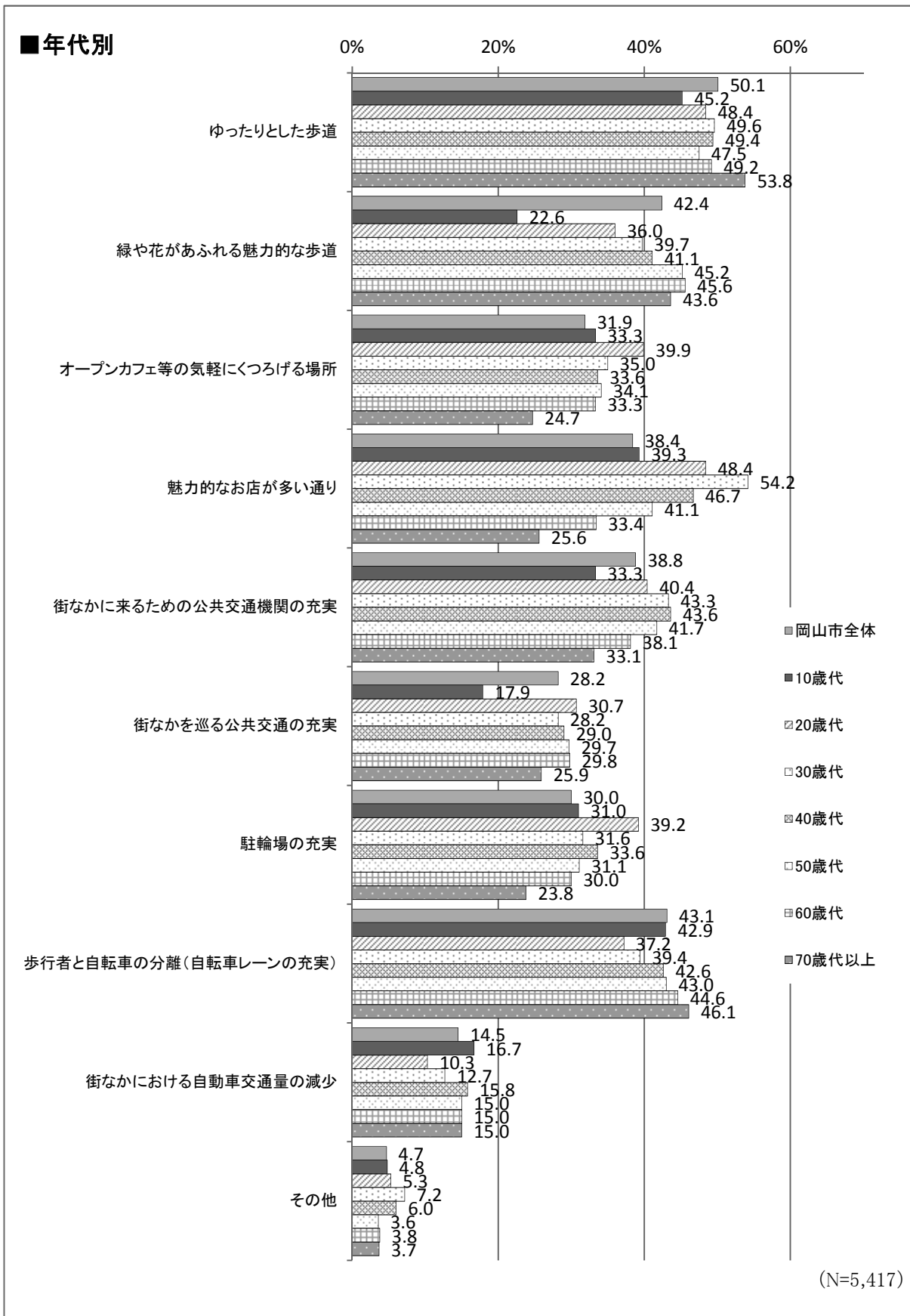
・最も回答した人の割合が高いものは「重要な施策であり、ぜひ進めるべき」となっており、全体の41.4%となっている。



・年代別に見ると、20歳代、30歳代を除いた他の全ての世代で、「重要な施策であり、ぜひ進めるべき」と回答した人の割合が4割を超えている。

【問17】まちなかを歩いて巡ってもらうためには、何が必要だと思いますか。(複数回答)





- ・「魅力的なお店が多い通り」については30歳代が54.2%、「ゆったりとした歩道」については70歳代以上が53.8%と5割を超えている。
- ・全ての世代で回答した人の割合が3割を超えているものは、「ゆったりとした歩道」「街なかに来るための公共交通機関の充実」「歩行者と自転車の分離(自転車レーンの充実)」の3つである。